

交流センターだより

おおとし



題 名：ウサギの笑顔
お名前：吉中直生さん
(上矢原)

No.128
令和元年
11月号

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人 口 13,855 世帯数 6,709
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口) TEL 922-2461 令和元年10月1日現在

第43回大歳まつりを開催します！



日 時：11月10日(日) 9時30分～15時
(雨天時縮小開催：9時30分～14時)
場 所：大歳小学校運動場・体育館



今回配布した大歳まつりプログラムには『お楽しみ抽選券』が付いています。
今年も素晴らしい賞品をご用意しておりますので、自治会名、お名前を記入して、必ず大歳まつり会場内の本部テントに設置している抽選箱に入れてくださいね！

今年は特別ゲスト「パニック・コージ」がやってきます！様々なイベントでモノマネショーを披露しており、レパトリーは20人！！湯田の「Panic!」でママ&マスターとして活動されています。当日は会場を盛り上げますので見に来てくださいね！

皆様のご来場を実行委員一同、心よりお待ちしております。



会場近くに駐車場はありません。自転車または徒歩でお越し下さい。駐輪場は大歳地域交流センターにあります。

パニック・コージです。
モノマネショーぜひ見に来てくださいね！



大歳地域交流センター図書入荷のお知らせ

【大人向け書籍】		【子供向け書籍】	
本名	著者	本名	著者
魔眼の匣の殺人	今村昌弘	よききかせえほん イソップ童話	渡辺弥生監修
むかしむかしあるところに死体がありました	青柳碧人	なまえのないねこ	竹下文子 文
ノーサイド・ゲーム	池井戸潤	ネコツメのよる	町田尚子
クジラアタマの王様	伊坂幸太郎	このほんよんでくれ	ベネディクト・カルボネリ 文
シーソーモンスター	伊坂幸太郎	ほたとばらの花	関英雄 作
絶望スクール 池袋ウエストゲートパークXV	石田衣良	十年屋① 時の魔法はいかかでしょう？	廣嶋玲子 作
剣樹抄	冲方丁	十年屋② あなたに時をあげましょう	廣嶋玲子 作
百花	川村元気	十年屋③ 時にはお断りもいたします	廣嶋玲子 作
はい！こちら！子ども記者相談室デス！	かめおか子ども新聞	作り直し屋	廣嶋玲子 作
人生は美しいことだけ覚えていればいい	佐藤愛子	おしりたんてい⑨ ラッキーキャットはだれのてに！	トルル
人生の終わり方も自分流	曾野綾子	かいけつゾロリ うちゅう大さくせん	原ゆたか
介護の流儀	曾野綾子	そらまめくんとおまめのなかま	なかやみわ
我らが少女A	高村薫	そらまめくんこんにちは	なかやみわ
70歳のたしなみ	板東真理子	そらまめくんのおやすみなさい	なかやみわ
ランチ酒	原田ひ香	学年別ドラえもん 名作選 全学年揃いセット	藤子・F・不二雄
てんげんつう	畠中恵	ころべばいいのに	ヨシタケシンスケ
女はいつも四十雀	林真理子	こども六法	山崎総一郎
夏の騎士	百田尚樹	天気の子(角川つばさ文庫)	新海誠
いけない	通尾秀介		
さよならの儀式	宮部みゆき		
検事の信義	柚月裕子		
思わず考えちゃう	ヨシタケシンスケ		
三体	劉慈欣		
むらさきのスカートの女	今村夏子		
とめどなく囁く	桐野夏生		
希望の糸	東野圭吾		
ランチ酒 おかわり日和	原田ひ香		
落日	湊かなえ		

大歳地域交流センター図書室に新しく図書を入荷しました。ぜひ借りに来てください！

6冊まで借りることができます。貸出期間は2週間です。期限内に必ず返却して下さい。



母推さんの子育て応援講座

～幼児向け食育講座参加者募集！～

大歳の食推さんに簡単な軽食の作り方を教わり、楽しく食べましょう！

日時：11月13日（水）

10時～12時（受付9時30分～）

場所：大歳地域交流センター

内容：簡単な軽食作り

対象：乳幼児の保護者 先着15組

※お子さんは託児あり。

持参物：エプロン、飲み物

申込：大歳地域交流センター

（TEL 083-922-4035）

※11月1日（金）から受付開始。

定員になり次第締め切ります。



花作り講習会参加者募集！

大歳自治振興会では、「花いっぱいの大歳づくり」を進めています。講演会ではプランターにパンジー・ビオラ・チューリップを植えます。植えたプランターは家庭に持ち帰っていただきますので、見えやすい場所や庭などで育ててください。お花が終わったら各自で季節の花に植え替えていただき、引き続き花いっぱいの大歳づくりに御協力をお願いいたします。

日時：11月18日（月）

14時～15時30分



定員：先着70名（※定員になり次第締切）

持参物：軍手、タオル

申込み：大歳自治振興会事務局

（大歳地域交流センター内）

（TEL：083-920-1700）

大歳地区バドミントン大会結果報告

10月6日(日)大歳小学校体育館にて開催しました第42回分館対抗バドミントン大会の結果を報告します。

【Aブロック】

優勝 中矢原A
準優勝 岩富A
3位 上矢原A

【Bブロック】

優勝 和田
準優勝 下矢原
3位 中矢原B



中矢原Aの皆さん

大歳地区ソフトバレーボール大会開催!

バレーボールよりも大きくて軽くやわらかいボールを使います。ご近所さんとの親睦をはかり、運動不足の解消のため、みんなで気持ちの良い汗を流しましょう!

※競技者4名(男女各2名、1チーム4人以上)

日時: 11月24日(日) 開会式8時30分~

場所: 大歳小学校体育館

主催: 大歳体育振興会

主管: 大歳ソフトバレーボールクラブ
大歳ジュニアスポーツクラブ

問い合わせ: 大歳体育振興会

(大歳地域交流センター内)

(TEL 083-922-4035)

※出場申込は11月15日(金)までに各分館長または体育委員までお願いします。



はつらつクラブ 大人の居場所からのお知らせ

11月は山口総合支援学校で行います! 総合支援学校の子どもたちや保護者の皆さんと一緒に楽しみましょう。どなたでもお気軽にご参加ください。お待ちしております!



日時: 11月16日(土)

13時00分~14時30分

場所: 山口総合支援学校 3階(調理室)

住所: 山口市朝田585-1

TEL: 934-4811

内容: むり絵遊び、牛乳パック工作、絵本の読み聞かせ等...

問い合わせ: 大人の居場所 代表 大窪

(TEL 080-2904-8193)

太陽クラブからのお知らせ

~クリスマス会参加者募集!~

クリスマス会を開催します! 今年はサンタさんが来るかな...? ぜひご参加ください!

日時: 11月22日(金) 10時~13時

場所: 大歳地域交流センター 2階 和室

内容: まつぼっくりでクリスマスの飾り作り
ミニクッキング

対象: 未就園児の親子(15組)

参加費: 1家族100円

持参物: 飲み物

申込: 太陽クラブ 代表 山根

(TEL 080-5207-5059)

※11月15日(金)申込締め切り。



【大歳地区11月の行事予定】

1日(金) 燃やせないごみの日

1日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)

10日(日) 第43回大歳まつり(9:30~15:00)

11日(月) 健康づくり囲碁・将棋大会(9:30~)

13日(水) 母推さんの子育て応援講座(10:00~12:00)

14日(木) 金属・小型家電製品の日

15日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)

15日(金) パソコン相談(10:00~12:00)

16日(土) 大人の居場所(13:00~14:30)



18日(月) 花作り講習会(14:00~15:30)

20日(水) びん・缶の日

22日(金) 子育てサークル太陽クラブ(10:00~13:00)

24日(日) 大歳地区ソフトバレーボール大会(8:30~)

25日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)

28日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)

29日(金) ぶっくん来館日(15:20~16:00)

※木曜日はプラ容器包装分別収集



村の中を川は流れる その3

では川を挟んで村がうまれることのデメリットはなんでしょう。大きな川を挟んで村がつくられて困るのは住民です。ろくに橋もなく、あっても少しの増水で渡れなくなるような代物ばかりの時代ですから日常生活の不便は大変なものです。さらに、川を挟んで村ができる最大のデメリットは村としての一体感が失われる危険性にあるといっているでしょう。

しかし、ここで長州藩が行政単位とした村の特徴を考えねばなりません。長州藩の村は他藩に比べて大変大きな領域で構成されていることが特徴でした。この大きな村という特徴をいかして、吉敷宰判の各村は村ごとに「御米蔵」を備えており、年貢米は萩ではなく、ここに運び込まれて備蓄されました。さらに全国から米が集中する大阪への米の出荷まで、いくつかの村が連合しておこなっていました。他藩の小さな村ではとても処理できない仕事量が押しつけられていたのです。

俗に村と呼ばれるものは実は何層かわかれています。最小単位は、今も自治会の単位と重なる馬庭・河内・和田や上矢原・下湯田などです。これは10~30軒程度で構成され、農民が共同作業で助け合う村人の生活の基礎単位です。さらにこうした村がいくつか集まって「鎮守の森」の神様をまつる村がありました。多くの藩の村はこの単位であったと思われます。明治になって7つの神社が朝田神社に統合されていきますが、この7つの神社の氏子を構成していた村と考えてよいでしょう。長州藩が行政単位とした村は、こうした「鎮守の森」レベルの村をいくつも含んだ大きさであったと考えられます。

こうした行政単位としての「大きな村」の村役人層（豪農）は専門性と熟練とが必要で、長州藩だけが「地下上申」や「風土注進案」などの村からの報告書を上申させえたのは、大きな村の村役人層の高い能力を前提にしていたといえましょう（小さな村レベルでは役人が聞き取りにいかねば報告書の作成は困難であったと考えられる）。一方で、こうした大きな村は農民の利便性や共同性への配慮を著しく欠く行政単位であったと思われます。享保期の「地下上申」と天保期の「風土注進案」とを見比べると村の構成そのものが大きく変わっています。こんな乱暴なやり方がまかり通る所に村の共同性の欠如が見て取れます^{註1}。ですから、川を挟んで村がつくられたのは村人の共同性の保持や利便性よりも行政の都合を優先させた結果であるともいえます。

しかし、大きな村は庄屋や畔頭など村役人層に大きな負担をかけるため、長期間、同じ人物が村役人を勤めることが多くなりますし、彼らが他藩と比べ、はるかに地域の課題を熟知し、大阪の米相場などへの関心も深くなるなど、その視野を広げることにもなりました。こうした豪農層が幕末維新期に活躍したことはよく知られています。村の中を川が流れることの功罪をもう一度見つめ直してみましょう。

（大歳史談会、文責：武波義明）

註1 享保期の「地下上申」では朝田村と黒川村は地域としてのまとまりがありましたが、天保期の「風土注進案」では、飛び地（河内、阿仙原）となったり、小名村が分割（朝田、和田、三作の石州街道より南）されて、黒川村に編入されました。平川側でも恒富、平野、吉野の一部が黒川村に編入され、黒川村での平川の比重が大きくなりました。明治に入って、大歳側の黒川村は朝田村に併合され、平川では黒川村が他の村を併合して残ったため、黒川村は平川側だけの呼称に変わってしまい、大歳側では、黒川市（かつての黒川村の中心）が黒川村の名残を残すだけになりました。こうした大規模な村の再編は村落の共同性に悪影響を与えたであろうと思われます。